

## みやこ型住宅\*を建てた施主への満足度等調査について

### 1 はじめに

宮古農林振興センターでは、地域材による復興住宅の建築を促進するため、平成26年度からみやこ型住宅の完成見学会や住宅相談会の普及活動を行っています(右写真)。

今回、これまでの活動評価と、今後の方向性の検討を目的として、みやこ型住宅を建築した施主を対象に、建築後の満足度等のアンケート調査を行ったので、その結果を報告します。

### 2 アンケート調査内容

平成26、27年に建築した、みやこ型住宅23棟の施主に、住宅の満足度、建築を決めた理由等についてアンケート調査を行いました。

### 3 結果(右図参照)

みやこ型住宅を建築した施主のうち、96%が建てて満足と回答しました。また、みやこ型住宅を選択したきっかけとして親、知人、親戚の勧めが43%と最も多いことが明らかとなりました。

また、みやこ型住宅に決めた理由として、補助制度の活用と地域材の地産地消が比較的高く、このうち補助制度がなくてもみやこ型住宅を建てた、とする回答は80%以上あり、地域材の地産地消への関心の高さを知ることができました。

一方、建築前にみやこ型住宅を知らなかった施主が4割以上と多く、知名度向上が課題です。

### 4 結果の活用と今後の予定

今回の結果から、みやこ型住宅の普及には、地域材の地産地消に関心を持つ未来の施主だけでなく、その両親や知人、親戚など周囲の方々に幅広く、継続したPR活動が重要と考えられました。今後も、みやこ型住宅の知名度向上を目的とした普及活動を推進します。



写真 みやこ型住宅の完成見学会の様子

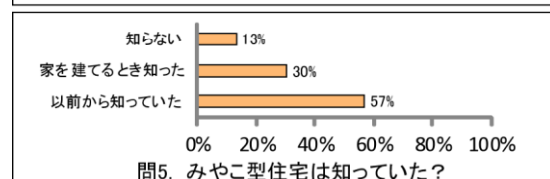
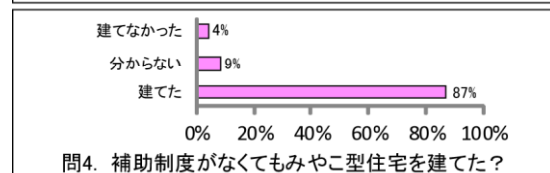
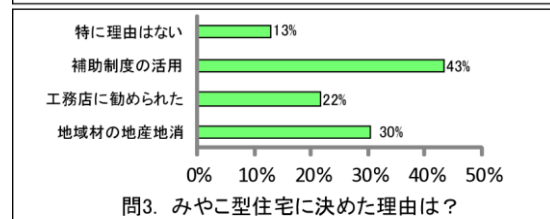
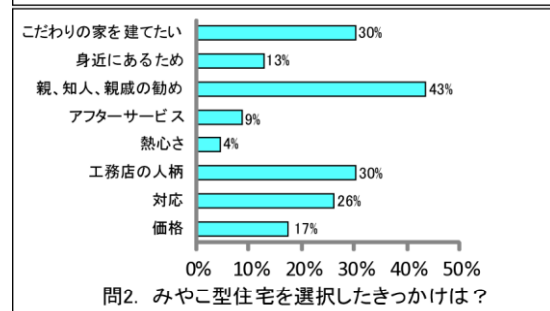
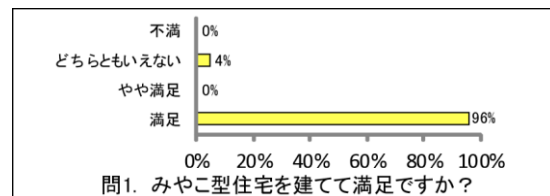


図 アンケート調査結果

\*宮古・下閉伊地域の林業・木材・建築関係者が、地域材の地産地消を目的に結成した「みやこ型住宅ネットワーク」により建築される木造住宅